

相談できる専門機関・お役立ち情報

ご自宅での健康相談



一般社団法人 日本精神科看護協会
看護師などの専門スタッフが、避難先のご自宅を訪問、心や身体の健康相談をしてくれる。
予約・お問い合わせ ☎0120-37-257

法律・登記に関するお困りごと

宮城県司法書士会

県内3カ所で相談センターを開設している。年間3,000件の相談対応実績。相続・贈与等の登記の相談もお気軽に。
仙台市青葉区春日町8-1 TEL.022-263-6755

帰還後の就職・転職希望者の支援

福島求人支援チーム

就職相談や転居費用支援の他、「福島復興エリア求人特集」ページや「福島ではたらく、移住きっかけマガジンHOOK」のウェブサイトを開設。
福島復興エリア求人特集ページ
<http://求人ボックス.com/> 地方創生-福島県
HOOKウェブサイト <https://fukushima-hook.jp/>

移住に関する情報の取得なら

みやぎ移住ガイド

宮城県の移住専用のホームページ。宮城県内の各市町村の支援情報等が掲載されている。
<https://miyagi-ijuguide.jp/>



福島県の就労や生活再建支援

ふくしま生活・就職応援センター

県内6カ所で求職支援や企業とのマッチング等を実施、生活再建に向けた相談も対応。
郡山事務所
TEL.024-925-0811 FAX.024-925-0821

住宅の再建資金のことなら

独立行政法人 住宅金融支援機構

「災害復興住宅融資」により住宅の再建を支援している。
お客様コールセンター(災害専用ダイヤル) ☎0120-086-353
<https://www.jhf.go.jp/shinsai/index.html>

宮城県営住宅、UR住宅

宮城県住宅供給公社

宮城県の県営住宅の募集を年4回実施している。県内各地の市営、町営住宅の情報もあり。
仙台市青葉区上杉1-1-20 ふるさとビル
県営市町住宅 TEL.022-224-0014 UR住宅・公社住宅 TEL.022-261-6164

仙台市営住宅

公益財団法人 仙台市建設公社募集課

仙台市内の市営住宅の募集を定期募集年4回(6・9・12・3月)と特定枠を行っている。福島復興再生特別措置法に基づく居住制限者、子ども・被災者支援法に基づく支援対象避難者の方は、申込資格要件が緩和される。仙台市内に居住していなくても、または勤務地が仙台市でなくても申込みができる。
「入居募集のがあんない」は募集月に仙台市建設公社または区役所、証明発行センター等で入手可能。
TEL.022-214-3604

帰還後の子育て支援(ままカフェ)

特定非営利活動法人ビーンズふくしま

不安や悩みを安心して話せる場所として「ままカフェ」を県内6カ所で実施中。託児スタッフもいるので子供と一緒に参加もOK。
TEL.024-573-0150

原子力に関する損害賠償

原子力損害賠償・廃炉等支援機構

説明会、個別相談会を全国各地で実施(相談予約 ☎0120-330-540)
電話・WEBによる無料情報提供 ☎0120-013-814

文部科学省 原子力損害賠償紛争解決センター(ADRセンター)からのお知らせ

「東京電力からの賠償に納得できない」、「賠償請求が済んでいない損害がある」とお考えの方へ

ADRセンターを利用してみませんか?

ADRセンターは、原発事故の損害賠償について、円滑・迅速・公正に紛争を解決することを目的に設置された国の機関です。

ADR(裁判外紛争解決手続)の特徴

- ▶ 中立・公正な仲介委員(弁護士)が賠償金額をあらかじめ算定します
- ▶ 裁判より簡単、手続は非公開 ▶ 手数料無料(送料、通信費は自己負担)
- ▶ 弁護士がいなくても個人で申立てできます
- ▶ 申立書はADRセンターのHPから入手可能
- ▶ これまでの2万7千件以上の申立てのうち、約8割で和解が成立!

このような場合に、賠償金が支払われる可能性があります

<ul style="list-style-type: none"> ▶ 家族が別々に避難し、生活費が増えた 	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 自家栽培野菜が手に入らなくなり食費が増えた 	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 避難先から自宅に戻る引越費用が必要になった 	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 自宅の除染費用・放射線測定器の購入費用
---	---	---	---

◆申立てに関する問い合わせ窓口◆ 文部科学省原子力損害賠償紛争解決センター TEL.0120-377-155 (平日午前10時~午後5時)

記載しているサロン・団体等へのお問い合わせは **相談ダイヤル 080-9259-7049** 相談メール f-soudan@renpuku.org
ホームページ <https://www.renpuku.org/> 開設時間 毎週火・水・金曜日 11:00~18:00
※祝祭日・お盆・正月の場合はお休みとなります。

福島県県外避難者相談センター [宮城拠点]

地下鉄南北線・勾当台公園駅(公園1出口から徒歩約5分)

※当センターは一般社団法人ふくしま連携復興センターからの委託により一般社団法人みやぎ連携復興センターが運営しています。



一般社団法人 **みやぎ連携復興センター**
〒980-0014 宮城県仙台市青葉区本町3-1-17 やまふくビル3階

福島県 県外避難者の方へ

私たちの歩幅で

サロン・相談・情報ガイド

福島の人と話がしたい、相談したいけどどこに相談したらよいか分からない... etc. そんなお悩みを持っている県外避難されている皆様に、避難元市・町ごとの広域自治会、宮城県内で開催されている福島の方が参加されているサロン、相談可能な各種専門機関等のお役立ち情報をご紹介します。
宮城県から帰還された方のご紹介や、広域自治会の皆さんとの意見交換会の様子も掲載。それぞれの歩幅でこの12年を歩んでこられた、それぞれの「歩み」を辿ります。

2023
VOL.

7

特集 帰還者を訪ねる

From 仙台市 To 浪江町 | 鈴木 荘司さん ご夫婦
みよ子さん

幸運が重なり浪江での暮らしが再開 それぞれの希望が叶うことを願う

「12年前は着の身着のまま避難。その日のうちに帰宅できると考えていました」。何も持たず、鍵も閉めずに家を出て以来、「帰る」という気持ちはそのままに、仙台でも多くの仲間と交流しながらその時の暮らしを前向きに捉えて過ごしたという鈴木さんご夫婦。帰還が実現したのは2022年6月のこと。様々な幸運が重なり、それが叶ったのだと言います。
「今暮らしている土地は姪から譲られたものです。また、仙台での避難暮らしに協力してくれた娘一家の後押しもありました。同居していた長男は新しい暮らしを決断して独立。私たちは夫婦で浪江の暮らしに戻るようになりました。」「仙台に暮らしながら、浪江の行政区での助け合いが私たちを支えていたことに気付かされた」と荘司さん。みよ子さんは「落ち着ける暮らしに戻った」と語ります。「帰還を希望する方の思いが叶い、浪江に暮らす仲間が増えることを願います。私たちは前向きな気持ちで待ちたいと思います」とお話をされていました。



浪江町の新居の前で。道の駅なみえから徒歩でもすぐの場所にある



1997年のリニューアルオープン時の記念写真。長男も共に

鈴木 荘司さん(79歳)
みよ子さん(75歳)

鈴木さんご夫婦はおふたりとも浪江町の出身。結婚を機に商売をはじめ、1997年からは食品や酒類などを販売する「Yショップ」を営んでいました。

荘司さんは商売の傍らPTAなどの役員もこなしたほか、多彩な趣味もあり、今もそのようなことが励みになっているそう。震災まで店を守ったみよ子さんは、仙台で暮らした際に商売をしているご近所の方のお手伝いも経験されたそうです。

～年表～

- 1970年代～ 浪江町で商売をはじめ、震災まで約40年営業を続けた。
- 2011年3月 一時避難などを経て長女夫婦が暮らす仙台に入る。孫が生まれたばかりだったため、放射能被害を避けるために長女の夫の実家・秋田県横手市への避難も経験した。
- 2014年秋 仙台市太白区に住宅を持つ。
- 2022年6月 浪江町に帰還。



「ふくしま仙台サロン」の仲間とは今も交流。月1回は仙台に足を運ぶ



道の駅なみえ付近の風景。暮らしやすい街づくりに向けて開発が進む

2023.3.10(金)

福島交流会

場所：ホテル白萩

双葉、大熊、富岡、波江の4つの町の皆さんで意見交換会を実施しました。



NEW 子育てサークル ちびぞうくらぶ

「ちびぞうくらぶ」は乳幼児・親子を対象とした大人のための大人が創る大人が笑顔になるサークルです。皆さんの「やりたい」をカタチにして実現していきます。いつでもお気軽にみなさんの声を聴かせてください。

代表／三浦未穂
会場／里の杜集会所 毎月第3木曜日 10:00~11:00
TEL.090-1069-5898



毎月楽しいイベントをご用意してお待ちしております

フレンドリー東北

東北一円に会員多数在籍。年間約10回の交流会を会員のいる各地域で実施している。大熊町の人であれば会員以外でも参加可能。詳しくは大熊町のHPを参照。

会長／木幡 伸夫



利用会場一例

双萩会

4世帯40名以上が参加。青葉区内に拠点もあり、芋煮会など時節に応じて交流会を開催。参加希望者は双葉町のホームページ参照。別に婦人学級もあり。

代表／笠原 悦夫



双葉町

「みやぎ・富岡さくら会」

カラオケや食事会などの交流会を実施している。現在の会員は20数名で参加者随時募集中。

代表／坂本 一成
TEL.090-8927-7283



富岡町

うつくしまサロン

岩沼市および近郊在住の方が参加。季節ごとのイベント等も開催、福島から転居された方が集う。

みやぎ心のケアセンター
TEL.022-263-6615



交流サロンさくら

毎月1回のお茶会その他、サロンコンサートもあり、その後は地元ボランティア団体と楽しくおしゃべり。

会場／柴田町地域福祉センター
柴田町社会福祉協議会
TEL.0224-58-1771



柴田町で福島の人に会いたい

すこやかサロン

月2回開催、健康体操やレクリエーション等を行い、楽しむ。他にもサロン等を開催中(月数回)。

浄土真宗本願寺派(西本願寺)
東北教区災害ボランティアセンター
TEL.022-227-2193



青葉区で開催

福島の親子サロン きびたん's

福島をふるさとに持つママ達のつながる場を月1回開催しています。親子のお楽しみタイムとママトークが人気です。

一般社団法人マザーウィング
仙台市泉図書館3-4階
TEL.022-772-7341



乳幼児のいるママのための

令和4年度 交流会 2023.3.10

情報共有 避難元市町訪問結果報告 大臣との意見交換会について

大熊町	双葉町	富岡町	浪江町
<p>本中町22 交流会と11日 に実施 町民の参加 が期待 30名 参加 予定 19時 開始 16時 終了</p>	<p>笠原 悦夫 10月 11日 13日 15日 17日 19日 21日 23日 25日 27日 29日 31日</p>	<p>坂本 一成 復興のまち 交流の会 11月 13日 15日 17日 19日 21日 23日 25日 27日 29日 31日</p>	<p>田中 康彦 復興のまち 交流の会 11月 13日 15日 17日 19日 21日 23日 25日 27日 29日 31日</p>

心西乙二(支援員)
お返 支援 空想地 連絡 相談

ふるさと 変な材料

ふるさと 変な材料

ふるさと 変な材料

■コーディネート
福島県県外避難者相談センター・宮城拠点(一般社団法人みやぎ連携復興センター内) 担当/市川 圭志・太田達也

■避難元市町村訪問の報告
いわき市を除く12市町村を訪問。いずれも避難者の状況を把握している。今後も除染、各税金の徴収、帰還の件など確認必要なことについては各市町村に問い合わせてもらいたいとのこと。

■復興大臣との意見交換(11月3日仙台市復興局)
避難者の方8名にお集まり頂き実施。質問は4点(①現在の仕事の状況 ②現在の仕事の状況 ③交流会に対するご意見 ④国、避難元及び避難先自治体への要望)で参加者に回答・感想を頂いた。

- フリートーク
- 11月に交流会実施。範囲が広く連絡を取ることも大変(大熊町)
 - いわき、福島は自治会は解散。今年度は活動したい(双葉町)
 - 今年度は活動を実施したいが、高齢化が課題。(富岡町)

参加者

フレンドリー東北 会長 木幡 伸夫 様
 双萩会 代表 笠原 悦夫 様
 みやぎ・富岡さくら会 代表 坂本 一成 様
 浪江町 代表 小峰 敏秀 様
 田中 康彦 様